

招待席

社員の約半数が子育て中。女性が生涯かけてキャリアアップできる 話題の化粧品ベンチャーは十七時退社でも九期連続増収を達成

メイク落としのクレンジングで更に肌がきれいになるという逆転の発想で爆発的に売れている「ホットクレンジングジェル」。一つの商品が年間三十五億円も売り上げていると大きな話題を呼んでいるが、このヒット商品を開発したのは「ランクアップ」というほぼ全員が女性という異

色のベンチャー。この会社のすごいのは、社員の半数が子育て中だったり妊娠していたりする点。一般の企業なら妊娠や子育てに入った女性は戦力外通告がなされるが、この会社ではワーキングママが大奮戦している。

育児中でも働ける理由は、残業はばなし、十七時退社という昨今話題のブラック企業とは真逆の環境があるから。



（株）ランクアップ
代表取締役
岩崎裕美子

代表の岩崎裕美子社長は「長時間労働の撤廃こそが女性活用の一の鍵」と言い切る。これは岩崎社長自身の経験が深く根ざしている。「私は以前、広告代理店で営業

事がとても面白い半面、深夜残業が当たり前の世界。結婚や子育てとの両立など望むべくもなく、妻や母になった時点で仕事をあきらめなきゃならない。なんでって思いました。妻や母になってもその人のキャリアやスキルは十分生かせるわけで、それを実現するには長時間労働をなくすしかない。十七時にきっちり仕事を終えてプライベートに時間の余裕を持つことで、仕事も子育ても両立できることを、どうしても実証したかったのです」

その実証は、数字に如実に表れている。ランクアップは創業以来九年連続で増収を達成しており、二〇一四年度は一二〇%の成長率を上げて

いる。「一般論として、働く女性は結婚

や出産でキャリアを諦めてしまう人が多かったという現実があると思うのですが、うちでは四十代五十代とチャレンジを続ける中でキャリアアップを積んで、全員が定年までイキイキと仕事と向き合える環境を作っていますね」

女性が幸せに働ける会社は外に向かっていても女性の幸せを訴求していく。「現在の事業はマナラ化粧品(岩崎社長の故郷である北海道の方言「なまら」すこく・とても)をもじったもの)が中心ですが、将来的には介護や育児で我々女性自身が欲したり感じたことをビジネスに結び付けて行けたらと考えています。社会に必要とされる企業をこれからも目指していきます」

(構成/本誌・堀内裕之)